

# 9320A クイック・セットアップ・ガイド



この度は9320A SAM リファレンス・コントローラーのお買い上げ、誠にありがとうございます。まず、製品の同梱物をご確認ください。また、9320Aの使用にあたり、MyGenelecよりGLM 5のダウンロードをお願いします。

## 同梱物

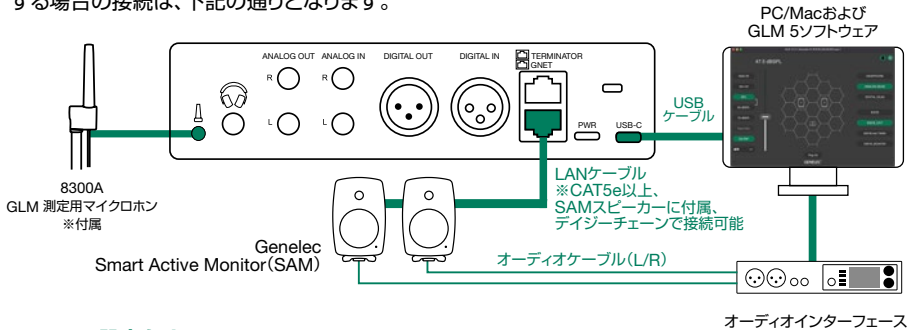
- 9320A SAM リファレンス・コントローラー
- USB-C to USB-C ケーブル(2.0m)
- USB-A to USB-C アダプター
- 8300A 測定用リファレンス・マイクロホン(本社工場にて校正済み)
- クイック・セットアップ・ガイド(本書)



GLM 5の  
ダウンロード方法

## SAMシステムで9320AとGLM 5と連携させ、モニター・コントローラーとして使用する

9320Aは、SAMスピーカー/サブウーファーおよびGLM 5と共に使用することで、グループ切り替えやレベル調整、Mute/Dimなどの主要コントロール機能を直感的に使用することができます。また、フィンランド・イサーミの本社工場にて校正された、付属の測定用マイクロホン(8300A)を接続して、スピーディかつ高精度なキャリブレーションを行えます。普段お使いのオーディオインターフェースを使用して、9320AをGenelecのSAMスピーカー/サブウーファーのモニター・コントローラーに特化して使用する場合の接続は、下記の通りとなります。



## 9320Aの設定をする

9320Aの設定は、GLM 5から行います。各項目の詳しい説明は、オペレーティング・マニュアルの33ページ「8.2 GLMでの9320デバイス構成」をご覧ください。



メイン画面から9320Aのアイコンをクリックして、9320Aの設定画面へ移動してください。

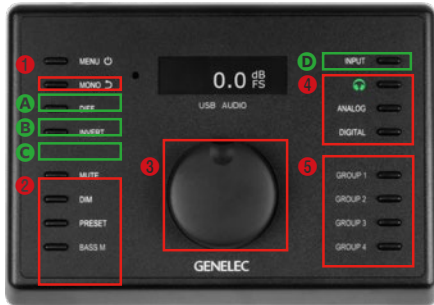


「I/O」設定の画面にて、「マスターレベルコントロール」内の設定を「GLM制御」としてください。

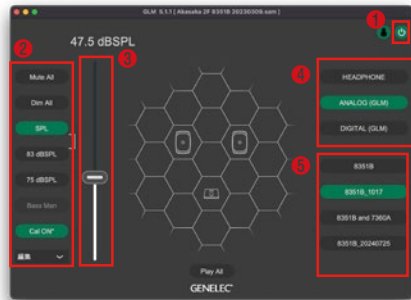
## 9320Aでコントロールする

USB接続したPC/MacでGLM 5を立ち上げると、9320Aを使ってGLM 5をコントロールすることができます。9320Aのボタン配置は、GLM 5のメイン画面をミラーリングしたような配置となっているため、直感的なレベル・コントロールやグループ切り替えが可能です。また、Mute/Dim、プリセット・レベルの呼び出し、SAMサブウーファーを用いたベースマネージメントのバイパス\*などを9320Aから操作することができます。

\*グループ設定においてベースマネージメントが設定されている場合のみ有効



9320A



GLM 5

### 1 MENU/電源

短く一回押すと9320Aの本体メニュー（詳細は9320Aオペレーティングマニュアルの17ページ「5.3 メニュー機能」をご参照ください）に、アクセスできます。また、長押しすることで、9320AとLANケーブルで接続された同じネットワークにあるSAMスピーカー/サブウーファーおよび9320A本体の電源を一括でオン/オフします。

### 2 MUTE、DIM、プリセット・レベル、ベース・マネージメント

GLM 5ソフトウェア上の左カラムに配置されたコントロールに対応するボタンです。  
※プリセットレベルは、2つあるうちの1つ目の「プリセット1」のレベルを呼び出します。

### 3 レベル・コントロール ※本体画面でメニュー表示の場合はカーソル移動

レベル調整を行います。なお、SAMスピーカー/サブウーファーで使用の場合、設定画面の“マスターレベルコントロール”の「アナログ出力」(または「デジタル出力」)の項目を「GLM制御」とすることで、スピーカー内のDSPでレベル・コントロールを行います。また、「9320A内部」としている場合は、9320A側でレベル・コントロールを行います。

### 4 出力切り替え

9320Aのアナログ出力、デジタル出力、ヘッドホン出力に切り替える際に使用します。

### 5 グループ切り替え

GLMのグループ切り替えを行います。例えば2chとサラウンドの切り替え、異なる測定位置で行ったキャリブレーションデータを読み出す場合など、さまざまなシチュエーションを瞬時に切り替えることができます。

■ 以下のボタンは、9320Aでオーディオ信号を直接やり取りする際に有効になります。※次ページ参照

#### A MONO ※本体画面でメニュー表示の場合は戻るボタンとして機能

9320Aから出力される信号を、ステレオ/モノラルに切り替えることができます。左右チャンネルからは、同じ信号が同じレベルで再生されるため、センターイメージの確認および正しいリスニング・ポイントを見つけるのに有効です。

#### B DIFF

左チャンネルから右チャンネルを減算し、その差分信号をL/Rチャンネルからモノラル信号として出力します。この機能は、ステレオ信号の位相ずれを確認する場合に有効です。

#### C INVERT

9320Aから出力される右チャンネル信号の極性を切り替えることができます。この機能は、ステレオ信号の左右相関度を確認する場合に有効です。

## ④ 入力切り替え

9320AはUSBオーディオ接続のほか、アナログ入力、デジタル入力が装備されています。このスイッチで入力された信号ソースを切り替えることができます。

※9320Aの入力は、DAW等において入力デバイスとして認識・使用することはできません。

## 9320Aを出力デバイスとして使用する

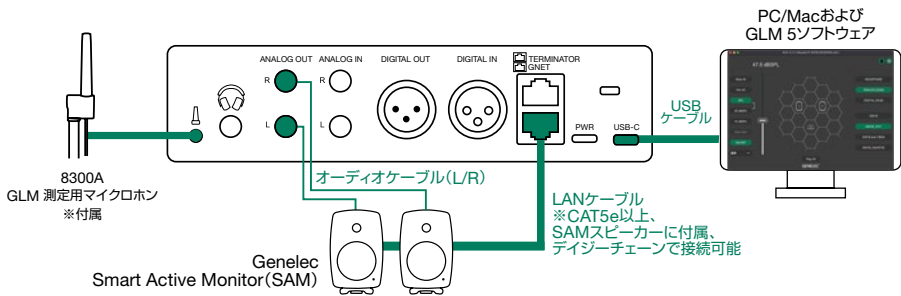
9320Aは、GLM 5を使用してのSAMスピーカー/サブウーファーをコントロールするだけではなく、USBオーディオを直接再生するデバイスとしてSAMスピーカー以外のGenelecスピーカー、または一般的なスピーカー、ヘッドホンを接続してモニタリングすることができます。また、アナログ-デジタルもしくはデジタル-アナログのフォーマット・コンバーターとしても使用できます。

※**いずれの場合も9320Aの本体の設定には、GLM 5が必要となります。**

### 9320Aから直接SAMスピーカーへアナログ出力する場合



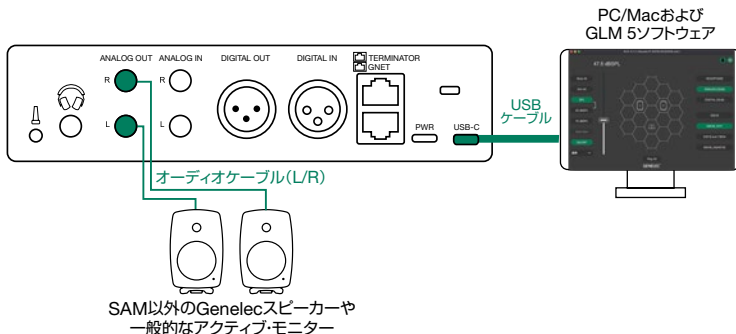
**重要!** : この場合は、9320Aの「I/O設定」→「マスターレベルコントロール」→「アナログ出力」を「GLM制御」に設定してください。また、DAWなどPC/MacのUSB音声出力を「Genelec 9320」に設定してください。



### SAMスピーカー以外のGenelecスピーカー、または一般的なアクティブ・モニターへアナログ出力する場合(スタンドアロン)

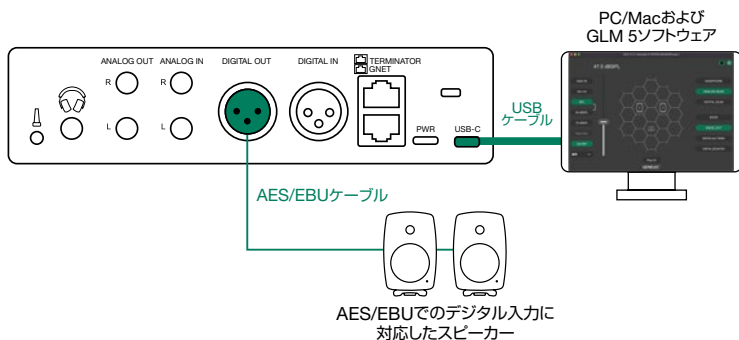


**重要!** : この場合は、9320Aの「I/O設定」→「マスターレベルコントロール」→「アナログ出力」を「9320A内部」に設定してください。また、DAWなどPC/MacのUSB音声出力を「Genelec 9320」に設定してください。



## 9320Aからスピーカーへデジタル出力する場合

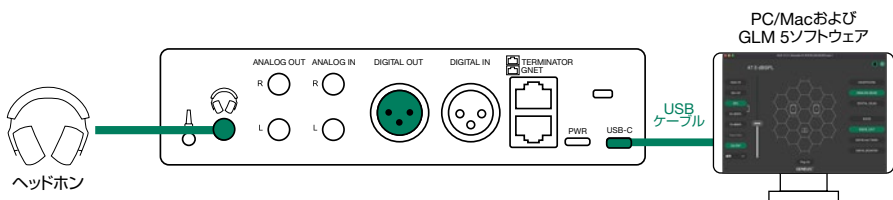
9320Aは、デジタル出力端子も装備しています。スピーカーへAES/EBUデジタル入出力する場合は、デジチェーンで接続します。ここでは、一般的なデジタル入力対応アクティブ・モニターをステレオ接続することを例にしています。この場合の信号出力は、AES/EBU一系統のため2chとなります。



**重要!**：この場合は、9320Aの「I/O設定」→「マスターレベルコントロール」の設定は、**SAMスピーカー/サブウーファー**で使用する場合は「GLM制御」、一般的なアクティブ・モニターで使用する場合は「9320A内部」を選択してください。

## 9320Aでヘッドホン出力する

9320Aには、16～600Ωに対応したヘッドホンアンプ機能も内蔵されています。ヘッドホンのレベルは、9320A内部で調整されます。ヘッドホンで使用する場合は、PC/Mac側のUSBオーディオ接続を出力や機器セット等で「Genelec 9320」に割り当ててください。



## このほかの詳しい使い方について

9320Aは本クイック・セットアップ・ガイドでご紹介した他にも、さまざまな機能が搭載されています。各種接続および各種機能の詳細は、9320Aのオペレーティングマニュアルをご参照ください。

[www.genelec.jp/9320a-manual/](http://www.genelec.jp/9320a-manual/)



9320A  
オペレーティング・マニュアル

GLM 5については、[www.genelec.jp/glm/](http://www.genelec.jp/glm/) をご参照ください。



GLM 5